

2026年 夏 No.40



作品提供：ペンネーム つぐろう さん
(京都市立開建高等学校)



吉祥院図書館 teen's ウィーク
毎月開催中です！

吉祥院図書館 teen' s ウィークってなに？



毎月10日～19日(teen)に開催！
テーマに沿ったおすすめの本を、
ティーンズコーナーに展示しています！
展示している本は借りられます。

京都市吉祥院図書館

〒601-8349 京都市南区吉祥院池田町1
(市バス「吉祥院前田町」)

電話番号：681-1281 FAX：681-3202



吉祥院図書館のHPもチェック！→



40号のテーマは「何度も読みたい！」

『TEENS便り』は今回で40号を迎えます！ 記念すべき40号では、吉祥院図書館の司書が「ぜひ何度でも読んでほしい！」と思う本を選びました。全て吉祥院図書館にある本です。貸出中の場合は「予約」もご利用いただけます。

瀬尾 まいこ／著
『戸村飯店青春 100 連発』
(文藝春秋刊)



器用で自由奔放な兄と、不器用ながら明るく誰からも愛される弟。対照的な兄弟の苦悩と成長の物語。人と自分を比べてしまうとき、人から認められなくて苦しいとき、心の支えとなる1冊です。

サン＝テグジュペリ／作、内藤 濯／訳
『星の王子さま』オリジナル版
(岩波書店刊)



砂漠に不時着したパイロットが出会ったのは、違う星から来たという王子さま。パイロットと彼の交流は、人生において大切なことを読者に教えてくれます。大人になっても宝物に思える物語です。

鴻巣 麻里香／著
『わたしはわたし。あなたじゃない。』
(リトルモア刊)



この本では、人間関係でのモヤモヤした気持ちについて、様々な話を通して考えます。「あ、ちょっとしんどい」と感じるのはなぜか、そんな時どうすればいいかを考えるヒントをくれる本です。

酒井 順子／著
『徒然草 REMIX』
(新潮社刊)



「徒然草」を推します。今読むのと、年を重ねてからの心への沁み具合は全然違います。「熟成」の過程を楽しんでください。いきなり原文はムリという人には、手始めにこの本をおすすめします。

マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく、
レナード・ワイズガード／え、うちだ ややこ／やく
『たいせつなこと』
(フレーベル館刊)



「ありのままのたいせつさ」が詰まった1冊です。2人の作家と、うちだ ややこさんの静かで力強い訳が、他者にとっての「たいせつ」と自分にとっての「たいせつ」とは何かを教えてください。

版元品切れ・電子版配信中

※吉祥院図書館は単行本を所蔵(2026年7月現在)

※京都市図書館電子書籍サービスではご利用いただけません。